

【企業】2022年度 大学「外部評価アンケート調査」回答

2022.11.1

回答者

本学の卒業生を多く採用していただいている企業13社に回答いただきました。

【質問回答】

1. 学生が身につけるべき資質・能力について

*是非身につけて欲しい資質・能力

*それほど重要視していないこと

① *是非身につけて欲しい資質・能力：弊社では職種に応じて求める内容と基本的に求められる点について記載致します。

■共通する事項

- ・社会人として仕事に取り組む姿勢
- ・業務に関わる知識や技術を素直に習得する姿勢と能力
- ・労働により対価をもらうということの責任感
- ・社会人になるための基礎的な教養
- ・時代の変化に対応できる柔軟性・チャレンジ精神
- ・コミュニケーション能力

■職種ごとに求められること

1. 総合職・・・コミュニケーション能力（協働のための情報共有能力・プレゼンテーション能力・組織における振る舞い・対人会話力、交渉力・統率力などを中心にあらゆるコミュニケーション能力を注視）、ファッションを軸としたあらゆるビジネスに関心を持つための広い視野、経営的感覚、論理性、基礎学力などを中心に資質が求められます。また、学業に関わらないところで、行動力、積極性、挑戦心を持っていること、語学力や特殊なスキルを持っていることも良いことです。
2. 技術職・・・技術力・センス（デザイン画からソースを読み解く、もしくは企画意図を理解して消化し、自身の業務に落とし込む能力を含む）を第一に求めますが、加えてチームや関連部署と協働するためのコミュニケーション能力、ファッションや洋服にかける熱意・意欲と社会人になるにあたっての基礎学力が求められます。
3. 販売職・・・コミュニケーション能力（特に対人会話力、表現力、対応力）とファッションに関わるセンスが強く求められます。加えて、自社のブランドとの親和性、基礎学力が求められます。

職種ごとにもとめられる資質が異なってきますので、基礎的な社会人スキルをきちんと身につけていただくと同時に、将来の目標をできる限り具現化させ、適応した能力、技術を身につけて頂くことが重要かと思えます

② *是非身につけて欲しい資質・能力

- ・デザイナー・パタンナー等の専門職：基礎的な技術はもちろん、ジャンルを問わずトレンドを抑えた、理論だけではない幅広い実践的な能力。感性だけでなく、科学的な視点。
 - ・販売職：外見的魅力。コミュニケーション能力。実践的な知識。(洋服、トレンド、販売スキル、等)
 - ・職種問わず共通：問題点を発見し、解決方法を自ら考え提案する。積極的、自主的に行動する。チームワークを考え、目的に向かって推進する力。素敵なお笑顔。誠実な人間性。
- *それほど重要視していないこと：専門職以外は専門的な技術・知識については重視していない。(入社してから必要であれば学んでいただきます)

③・体力づくり、健康管理

人生が長くなり、仕事も60歳、65歳でリタイアではなく、ゆるく長く働いていく社会に変化してきています。そういった社会で持久力を保ち、自分らしく日々を送るためにとても大切な要素です。

- ・課題を見つける、仮説で取り組んでいく姿勢、行動力。

仕事に正解はありません。特に変化の多い時代の中では課題を見つける力がとても大切です。変化を恐れず、行動する力はこれからの社会で必要とされています。

- ・自分の強み、やり方を説明できる

自分の強みを理解する、ということは簡単なようでとても難しいことです。その強みは他者と比較して食べていけるほどのものなのか、もしそうでないのであれば、他の強みとかけ合わせ、オリジナルの強みにしていく努力も必要です。

④*是非身につけて欲しい資質・能力：忍耐力。市場を広い視野で分析する能力。

- ・自分軸以外の視点で物事を捉えることが出来ると、他者との関わりが上手くいく。

相手の良いところを見る、見つけられると人間関係で悩むことは少なくなる。

社会に出ると、自分と価値観の違う人達と、(必要に応じて)いかに上手く付き合っていくかが求められてくる。

- ・継続力、自主的に課題を見つけ、それを克服していく自己成長力。

⑤*是非身につけて欲しい資質・能力

今後はファッションだけではなく、ライフスタイル提案を求められる時代になっているので、最新の流行にアンテナをはり、食やインテリア、居住空間に対し消費者の購買動向がどう変化していくのか興味関心を常に持てることが大事だと感じます。どんな業界、職種に就いてもチームで結果を出さなくてはならないので、協調性があり、何事も与えられた事を真面目に取り組む姿勢が必要だと思います。

⑥*是非身につけて欲しい資質・能力

- ・常に積極的な好奇心を持って欲しい
- ・多様性を認める包容力(完璧な人はいない、良い部分を評価できる)
- ・自分の考えをしっかりと説明する能力を身に付けて欲しい
- ・教養を身に付けて欲しい、特に時事問題についての知識レベルの向上
- ・将来DXによって業界にどのような変化が起こり得るのかを創造する力

*それほど重要視していないこと

・企業ネットで得られるような表面的な情報による企業研究

⑦*是非身につけて欲しい資質・能力

・コミュニケーション

一言でいうとコミュニケーションとなりますが、学問的な研修で行うようなコミュニケーションではなく、もっと日々のお仕事の中で行う『報連相』のレベルです。昨今の学生は良くも悪くも SNS やデジタル機器の発達により、コミュニケーションツールは多様化している中、一方では人との話し方や会話の基本が抜けているレベルが低いと感じます。言葉の重さや意味などを理解して使う言葉を選ぶこと等、語彙力が低いと感じます。また、報連相が少ないと感じますが、一人で責任を持ってやる事を報告せずにやりきることの意味を取り違えていると感じます。報連相をすれば、やっている事が間違っても、色々なアドバイスや知恵を授かることがあります。日々、他愛の無い事でも話をしていけば、何かあった時にすぐに対処ができ、周りのサポートも上手く利用できるのに、話が無ければ自力で解決となり損をしている気がします。

*それほど重要視していないこと

特になし

⑧*是非身につけて欲しい資質・能力：PC スキル（エクセル・ワードなど）、ソフトスキル（論理的思考など）

*それほど重要視していないこと：総合職に関しては資格など

⑨ *是非身につけて欲しい資質・能力：対人力、創造性、服飾に関する基礎知識

*それほど重要視していないこと：国籍、性別

⑩*是非身につけて欲しい資質・能力

・マネジメントの知識を付けて頂きたい。店舗運営に携わる方が多いこともあり、部下を持つ経験を想定しマネジメント全般の知識があるとキャリアアップに繋がると考えます。

*それほど重要視していないこと

・ファッションビジネス系の学生に対しては服作りの知識は重要視していません。素材や色彩の知識はあって良いと思いますがそれ以上の知識は重視していません。

⑪*是非身につけて欲しい資質・能力

資質としては、コミュニケーション能力と主体性を求めます。知識としては、最低限のPCスキルと、職種によってはイラストレーターや Photoshop などの理解が少しでもあると良いと思います。発信するための手段が様々なので、それぞれに応じていくための素養が身につけるとありがたいです。

*それほど重要視していないこと

総合職採用の場合、採用試験時はアパレル業界や洋服に関する深い知識は求めています。

⑫*是非身につけて欲しい資質・能力

プレゼン力とそこに必要とされる作成発信ツールの理解、情報収集方法の理解

プレゼミ（マネジメント）（イノベーション）のリアル店舗でも生かせることの学習理解

*それほど重要視していないこと

教職免許の有無

① *是非身につけて欲しい資質・能力

VUCA 時代における、テクノロジーの理解や情報収集及び情報の選別ができる審美眼など、その他、当社のみならず、どの業界でも通用するポータブルスキルとなりうるビジネス基礎力が必要

*それほど重要視していないこと

業界専門知識

2. 教育課程の編成と教育方法について

*教養科目の編成について

*専門科目の編成について

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）

*到達目標について

*評価方法について

*その他の指摘、改善点

①科目の編成については特に申し上げる点はありません。様々取り組みをされていることが分かる為、特に問題はないと思います。出来る限り、到達目標やカリキュラムごとの合格ボーダーラインを高く設定することが肝要と考えます。また、コロナ以降対面の減少によりチームワークや対人能力、技術力に不安があるケースが増えているため、今後対策が求められると感じています。

②*教養科目の編成についてバランスよく編成されていると存じます。

*専門科目の編成について年次の成長に合わせた編成になっており、各コースの専門に合った内容になっていると存じます。

*改善に向けての提言（科目の過不足を含む）：特に改善点は見受けられません。

*到達目標について：適切かと存じます。

*評価方法について：適切かと存じます。

*その他の指摘、改善点：特にありません。

③仕事に正解はない、もしくは正解は一つではないので、決定を正解にしていくプロセス創りや状況に合わせた修正、変更、変化への適合が必要です。その思考力、行動力、粘り強さをどう身につけるか。例えば、決められた時間内にチームでやり遂げる実習などはとても重要に思います。

1 売れている店舗のリサーチ、その理由、勝ちパターン

2 逆に 一見良く感じるが今一つ売れていない店舗、ブランド その再生プラン

弊社で行っているインターンシップでは、弊社ブランドを題材にした SWOT 分析や、その SWOT 分析に基づいてもし実務をしたらどのような行動が出来るか、などの課題を出して思考力・行動力の参考にしています。

④デジタル人材を育成する環境がどこまであるのか、詳しく存じないうえで失礼かと思いますが、教育側が時代や社会の流れ・ニーズについて行けているのかをチェックすること。学内だけではなく、課外活動や自分の見聞・価値観を拓げる体験を促して頂きたい。

⑤上記に関しては特にありません。

⑥リメイク授業について、学生数の増加に伴い内容等再考する余地あり。

⑦教育課程とか教育方法とかの細かな良し悪しではなく、ビジネスとしての観点で感じることを申し上げさせていただきます。(やられている科目／教科もあると思いますが)特に、企画職においては、コレクションデザインなどでなく、商業デザインというポイントを軸にポートフォリオなどを描いて欲しいと思います。奇抜・斬新などデザイン力・発想力はもちろん、新しい提案は必要ですが、オーダーメイド・舞台衣装・オートクチュールなどばかりではなく、当社のようなアパレル企業は一般的に売れる物を作る企業です。日々日常で「売れる物・必要とされる物」を作り出す、その様な視点でのポートフォリオが欠けていると感じます。就職面接で課題を出して、学生とお話をして、価格帯やコスト感(なぜその素材を選んだのか、いくらぐらいを想定しているのか)、そこまで考えている人は一握りで、大半がデザイン性の説明に尽きます。また、マーケティングの視点もかけていると感じます。

今の時代は、何が流行って何が好まれているのか、また逆に今ないものを新たに提案したい(流行りを起こしたい)などのそれを提案する意図目的がぼやけている方が多いです。

そういった意味では、プレゼンテーション能力の向上も必要かもしれません。

また、アパレルだけでなく、例えば電化製品であったり、自動車であったり、他の業界の今の流行りや傾向など、その時代時代の流れがあると思います。高度成長期やバブル期など時代の世相もあると思います。その様な他の業界傾向などもアパレルファッションには影響があることがあると視察します。その様な研究もあるといいのかなと感じます。

⑧*教養科目の編成について：リベラルアーツなどの要素が必要

*専門科目の編成について：特になし

*改善に向けての提言(科目の過不足を含む)：上記

*到達目標について：特になし

*評価方法について：特になし

⑨*専門科目の編成について：DX化やIT推進が可能な科目

⑩細かくご回答するのが難しいので、要点を以下に記載させていただきます。

※資料の見方があまりよくわからず、見当違いの回答がありましたらご了承ください。

・全体的に必修項目が少ないと感じました。特にファッションビジネス系の学生は選択科目が多いと、学んだ内容に偏りがでそうなので、もっと必修項目が多いと良いと感じました。例えば経営学やファッション販売論、衣服管理、企業会計入門などは必須で良いと感じます。

・「経営学」はモードテクノロジー系も必修項目で良いと感じます。入門編以外の内容もファッションビジネス系の学生は1年時以降も深く学べると良いと感じます。

・新規変更科目の「メディアコミュニケーション論」「色彩実践学」は選択ではなく、必修項目で良いと感じます。

・1年時の教養科目「社会人基礎A」や「社会人基礎B」については就活にダイレクトに結びつきそうなので1年時ではなく、2年時の必修項目にされると良いと思います。一般大学の学生に比べ、ファッション系の大学の学生は就活に対する準備が遅い傾向にあるので、その点2年時の前期等で必修項目になっていると乗り遅れることなく進めるのでは感じます。

⑪細やかな授業構成をとられているため、特別に意見はございませんが、

(総合職) SNS や Live 中継のノウハウ。コミュニケーション能力が磨かれる内容。
(デザパタ) 教科書の答えをインプットするだけではなく、“なぜその形になるのか”という根拠を理解する。トレンドとリアルクローズの理解。

上記が学べると実践で活かしやすいのではないかと思います。

⑫ * 教養科目の編成について十分な内容です。

* 専門科目の編成について専門の授業科目が豊富で十分な内容です。

* 改善に向けての提言 (科目の過不足を含む) : 特にありません

* 到達目標について : アパレル企業にとって満足のいく人材育成目標内容です

* 評価方法について : 実力や能力だけでの評価ではない点が良いと思います。授業態度と課題への取組姿勢が評価される点に努力が報われ継続性の大切さに繋がる評価方法だと思いました。

* その他の指摘、改善点 : 流行論等、時代に即したカリキュラムがありさらにファッションの専門性が学習できて将来に渡ってアパレル業界で生かせる豊富なカリキュラムが魅力です。

⑬ * 教養科目の編成について : 特に問題がないと考える

* 専門科目の編成について : ファッションデジタル系のカリキュラムがあるが、それ以前のデジタル基礎に関しての科目編成を検討して欲しい

* 改善に向けての提言 (科目の過不足を含む) : 3D 関連の授業導入を早急に進めるべきデジタル基礎に関しての科目編成を検討して欲しい

* 到達目標について : 諸外国と比較して、日本の企業、教育機関ともにデジタル化の遅れが著しいため、3D CAD などについては、即戦力スキルを到達目標として教育して欲しい

* 評価方法について : 提出評価だけではなく、プレゼンテーション力についても評価の対象とすべきと考える

3. 入学者受け入れについて

* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

* そのための方策がありましたらお知らせください

① 3 ファッションに対する熱意や、この業界への希望、楽しみをしっかりと持っている人財、またそれを育てることのできるような人財を受け入れて頂きたいと思います。ファッション業界がもっと明るい話題や誇れるニュースをもっと発信していく必要があると思います。

② * 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

アパレル業界に情熱や興味があり、目まぐるしい社会情勢の変化にも柔軟に対応できる資質を持っている方が望ましい。

* そのための方策がありましたらお知らせください

作文やグループ討議・面接での選考ができると良いと存じます。

③ 「応用力のある人材」が必要と考えます。

* 学校の授業と並行して実社会の勉強としてアルバイトも出来る余裕

ある程度、将来の方向性が決まったら、2年目・3年目にいくらか項目を絞り、その分野で

の専門知識を学ぶ、蓄える。

- * 企業が個別に行っているインターンシップを活用し、自分がどんな方向に興味・関心があるのか、頑張れそうかを知る（自己分析）。その上で、学校でどの授業を選択して準備をすれば必要な能力が身につくかを考える。

④2.の通り、デジタル人材への対応をアピールしていく。今や SNS は業務でも必須であり、情報発信の要である。Youtube 活動等で一芸入試を実施するのはいかがでしょうか？

⑤* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

ファッションを通して、常に成長したいという向上心があり、創造力と寛容性がある人材が必要だと感じます。ファッションを世の中に広めていく手段が急速に変わってきており、その変化に対応できるスキルが必要だと感じます。マーケティング、デジタルの連動が不可欠なので、その分野にも興味をもち学びたいという意識は重要だと感じます。

* そのための方策がありましたらお知らせください

マーケティングやデジタルスキルの重要性を講義で学べる機会があると良いと思います。

⑥3, 4 の回答を 4 でまとめて集約

⑦アパレルに興味が強いは大事ですが、色々なものに興味を持てる多趣味な方が良いのではないのでしょうか。具体的な方策は浮かびませんが・・・難しい質問ですね。

⑧多様性を受入、ダイバーシティを發揮すべき⇒新卒採用の刷新

⑨* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか→ 柔軟な発想ができる人材。

⑩* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

・何事にも前向き捉え、変化を受容できる素養のある方

⑪* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

服が好きという気持ちの方をお迎えすることは、従来通り大切なことだと思いますが、スタート時点で必ずしもそうでなければならないとは思わず、人と接することへ興味がある・デジタルコンテンツに興味がある・発信することが得意 など、服以外の観点から業界へ興味を持ってもらえるような工夫が必要だと感じています。

* そのための方策がありましたらお知らせください

洋服以外のアプローチ方法も検討し、出会い（認知）のタイミングを増やすことが大切だと思います。

⑫* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

アパレルの流行の移り替わりは非常に激しい為、さまざまな事やモノ、情報に興味関心ごとをもって接し、感性を磨き上げていく事が、ご自身でやり続けられるような方。

* そのための方策がありましたらお知らせください

こだわりや興味関心ごとを整理して人に伝える準備を早くから実施することが将来、感性を磨き上げることが自然と出来る事に繋がっていくと思います。学生の皆様とお会いした際に、今の興味関心ごとが何で、どれだけあるかを伺っています。プレゼン力 UP と、ご自身の魅力や個性を伝える方法としても早くから準備して頂きたいと思います。

⑬* 今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

次世代のファッション・アパレル業界に変革を起こせるモチベーションが高い人材
*そのための方策がありましたらお知らせください
ファッション・アパレル業界に対する、ワークショップ等の対外活動の強化

4. コロナ禍を受けて今後の人材に必要なこと

*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

① 今後はデジタルのスキル、オンラインのスキルが重要になっていくと考えております。

そもそも今後はデジタルネイティブですので、単純なスキルは標準的にお持ちだと思いますが、それらをファッションと、若しくはビジネスとどのように結びつけることができるか、ということが非常に大事だと思います。古い技術とデジタルの融合、メタバース、NFT、などとファッションを掛け合わせて新しい価値を創造できることなど、新たな世界を切り拓く人材が求められていくのだと思います。

② *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

正しい情報を入手分析し、課題解決に論理的に考えるスキル。IT リテラシー。

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

社会の変化に柔軟に対応できる考え方や行動が出来る。自発的に考え行動できる。

③ ・時間意識：仕事におけるタイムパフォーマンス、コストパフォーマンス感覚のある方。

・早い段階から受け身ではなく、自己投資できる方（自分の時間・お金を使って資格やスキルの習得）

・SNS で自己表現が出来る方。

そのための IT スキルやイラストレーター、フォトショップの実務スキル。

④ 先にも記載しましたが、デジタル対応スキルは必要。また、変化・状況に臨機応変に対応できること。一つのことに特化するよりも、幅をもった柔軟な人材を求めている。

④ *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

何事も受け身ではなく、失敗を怖がらずに自主的に行動できる人材。コロナ禍を経て、この数年は人との関わり方が希薄になり、コミュニケーションの取り方が難しくなっているため、人の話を聴く事の大切さ、自分の気持ちや意志を相手に伝える発信力もとても重要だと感じます。

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

従来のやり方にとらわれず、自分自身で目標を設定し、結果を出す努力を惜しまず実行していく力。

⑥ 3, 4につきましては以下に集約させていただきます。

*今後のアパレルの人材育成に向けてどのような人材を受け入れるべきか

- ・必要な資質
- ・誠実である事
- ・頭脳明晰
- ・柔軟性

- ・ストレス耐性
- ・積極性
- ・時代の半歩先を読み斬新なアイデアを創造する事ができる
- ・数字に興味がある、数字が好き
- ・ファッションが大好き、感性がある
- ・様々な視点で物事を捉える事ができる
- ・多様性を許容できる
- ・論理的な思考能力と動物的嗅覚を持ち合せている
- ・溢れる様々な情報ソースの中から中長期的な世の中の社会的、経済的動向を感じ取る事ができる

*そのための方策がありましたらお知らせください

- ・日々新聞を読む、歴史を学ぶ
- ・アイデアプレゼン等学生が自ら考える機会を多く設ける
- ・産学連携やインターンシップ等、社会の刺激を受ける機会を作る

⑦ コロナだからと言って特別なものは感じません。

⑧ 多様性の受入が重要

⑨ *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか：WEB上の対人力

*どのような人材が今後必要になるとお考えか：柔軟な対応ができる人材

⑩*どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

・ここ数年、コミュニケーションスキルが低い方が増えたように思います。

コロナ禍でアルバイトも接客業から人と接しない業種を選択する学生が増え（センターでの仕分けやコールセンター等）よりコミュニケーション能力の低下を感じます。

基礎的な部分であるので、コミュニケーション能力、対人関係構築力などを学生のうちに最低限身に付ける必要があるように思います。

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

・発信力やセルフプロデュース力のある人材。マーケティングの知識やSNS等のリテラシーも重要になってくると考えます。

⑪ *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

アパレル店舗では、SNSなどでチェックしてからお買い物にいらっしゃるお客様が増えています。よって、スタッフには今まで以上の提案力や人間力が求められると感じています。また、どの仕事においてもPCやタブレットの使用が必須のため、早いうちから習得出来た方が良いと感じています。

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

市況の変化・購買層の服への意欲の変化を常に感じながら、変化を恐れずに柔軟に取り組める力がどの職種にも求められると思います。

⑫ *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

ファシリテーションスキル。他者との差別化の為にも必要な要素としてより専門に特化したファッションに関連した学習内容で身に付けた技術やスキル。発信力（当社ではスタッフ

がオフィシャルサイトでスタイリング発信を積極的に実施しています)

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

研修や会議等の取組が活発でスムーズな為オフライン(対面時)、オンラインのどの環境においても積極的に発言し、ファシリテーションが上手に出来る方が必要。専門に特化したファッションに関連した学習内容で身に付けた技術やスキルを与えられた事以上に入社後の長期キャリア形成に繋げて、広げていけるような人材が必要と考えます。当社ではスタッフがオフィシャルサイトでスタイリング発信を積極的に実施しアパレルで働く事の楽しさを体現しています。

⑬ *どのようなスキルが今後必要になるとお考えか

デジタルリテラシー及びビジネス基礎力などのポータブルスキル

*どのような人材が今後必要になるとお考えか

デジタル×ファッションの基礎力がある方

5. その他

① 特になし。

② 特になし。

③ やむを得ないことですが、やはり学校と社会、仕事における実務のギャップはかなりあるように思います。学生のうちのなるべく早いタイミングで、自分の興味のある分野や、進みたい分野のインターンシップやアルバイトが出来る余裕があると良いです。そして、そこで見えた課題に対して準備が出来る時間があればと思います。

④ 複数年にわたり、このような機会を頂きありがとうございます。これまでの回答にプラスする内容を、今回は提出させていただきます。御校にて前年度までの内容を加えていただけますと幸いです。

⑤ 特になし

⑥ 今後も学生達の若い感性に響くような産学連携を通じ、ファッション産業の将来性への不安を払拭し、世界的に見れば成長産業であるファッション産業のあるべき将来像を共に考え、その持つ魅力を伝えていく活動が必要だと感じています。

⑦ 質問の意図するところでの具体的な回答でなく申し訳ございません。すでにあるカリキュラム(教科や科目)で行われている事もあると存じます。学生を選考する中で感じたことを書かせて頂きました。ご容赦下さい。

⑧ 特になし。

⑨ 特になし。

⑩ 特になし。

⑪ 特になし。

⑫ 貴校の生徒の皆様には、企業の人材育成前の貴校での学習内容を存分に生かして活躍して頂きたいと思っておりますし、新しい感性を毎年必要としている企業側にとっても豊富なアパレル専門に特化した学習カリキュラムを履修した学生は大変貴重です。当社は今後とも、貴校の生徒様とご縁があります事を願っております。引続きどうぞよろしくお願い致します。

⑬当業界へ希望学生が減っているため、高校等への産学共同で啓蒙活動に取り組めたらと考えて
おります。